

真狩高校「工事現場見学会」 in 国営農地再編整備事業「真狩地区」

工事前の表土は栄養価たっぷり！
仮置きして最後にならします。



ブルドーザーで凸凹の農地を整地しています！
土地の排水性なども良くなり収穫高もアップ！

この白いのは
何ですか？

白いのは盛土が流れるのを防ぐ排水の側の溝用のシートです。



校舎の中ではなく、現場で見ながら説明すると一層理解が深まります



職員から工事概要の説明を受けています

7月24日(火)に真狩村で真狩高校1年生を対象として、工事現場見学会を開催しました。これは、次世代を担う生徒達が現地で実際に触れる機会を設け、農業生産や食糧供給の意義などを啓発・学習させるとともに、国営農地再編整備事業「真狩地区」の事業実施資料や実施現場等を活用した学習活動を実践することを目的として行ったものです。

なお、小樽開発建設部と真狩高校は、農業に関する基礎学力と規範意識を持った優れた産業人の育成を図ることを目的に、平成20年度からパートナーシップ協定を結んでいます。

職員から説明が終わった後の質問では、「工事完成後は何の畑になるのか」「白いシートが敷かれているのは何か」「あの大きな機械は何か」など、生徒から多数の質問があり、興味を持って真剣に取り組まれていました。最後に生徒代表からお礼の言葉を頂き終了しました。



職員の説明を真剣に聞いていました



完成後の利用状況を見学しました

生徒代表から、お礼と「今後の授業などに活かしていける」とお言葉を頂きました。

